

高校生が城下町ツアー案内



ツアー客へ、近世・近代の町並みについて説明する高校生＝丹波篠山市河原町

丹波篠山

丹波篠山市の3高校の生徒がプロデュースした日帰りツアーが、篠山城下町などであった。姫路や神戸などから観光客22人が参加。制服姿の生徒たちが観光ガイド役を務め、クイズなども交えて町歩きしながら地元の魅力を紹介した。

神戸新聞旅行社の主催ツアーで、2022年に始まり、今年で3回目。篠山鳳鳴、篠山産業、篠山東雲高の生徒計15人が協力した。黒豆卸の老舗「小田垣商店」のカフェでは、篠山産高の生徒らが考案したモンブラン風のオリジナルスイーツを提供。

クイズなど交え 観光客に魅力紹介

ソフトクリームに、丹波栗や黒豆をトッピングし、丸いクッキーはイノシシの鼻風にデザインした。

近世・近代の家並みが残る河原町では、篠山鳳鳴高の生徒が、防火が目的の建物の「うだつ」や「妻入り」の屋根について説明。王地山まけきらい稲荷では、鳥居の数などをクイズにし、観光客とコミュニケーションを図った。篠山城大書院では篠山鳳鳴高のデカンショバンドによる演奏も披露された。

姫路から夫婦で訪れた中さんは「若い人のガイドはさわやかで新鮮だった。クイズも面白かった」と話していた。

2024年11月30日

神戸新聞